

特別企画

※本号（ ）内）のページ数を掲載しております。

	プログラム／抄録	
代議員総会・会員総会・評議員会	P.27	—
第22回日本エイズ学会 学会賞（シミック賞）受賞講演	P.27	—
Plenary Lecture	P.28	P.101
会長講演	P.29	P.103
シンポジウム「治療の手引き」	P.30	P.104
医学教育事業委員会シンポジウム	P.31	P.109
早期治療推進検討委員会シンポジウム	P.31	P.110
シンポジウム	P.32	P.111
ポジティブトークセッション	P.39	P.178
メモリアルサービス	P.39	P.179
日本エイズ学会認定講習会（医師）	P.40	P.180
日本エイズ学会認定講習会（看護師）	P.40	P.185
日本エイズ学会認定 HIV 感染症 指導看護師向けアドバンスト研修	P.41	P.186
HIV 感染症薬物療法認定・ 専門薬剤師認定講習会	P.41	P.187
市民公開講座	P.42	—
Scientific Engagement Satellite Symposium	P.42	P.192
ミニシンポジウム	P.43	P.193
共催シンポジウム	P.43	P.194
ランチョンセミナー	P.47	P.201

代議員総会・会員総会・評議員会

■日時：12月6日（土） 12:40～13:40

■会場：第1会場（2F シビックホール）

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・ECC 奨励賞・優秀演題賞の授賞式ならびに ECC 奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加者は学会員に限ります。

第22回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

■日時：12月6日（土） 13:40～14:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

第22回
日本エイズ学会学会賞
（シミック賞）
受賞講演

座長 杉浦 互（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

Plenary Lecture 1

■日時：12月5日（金） 11:00～12:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

Plenary Lecture 1 基礎・B

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■Speaker

PL01-1 The Changing Landscape of HIV Drug Resistance: What Comes Next?

Robert Shafer

Stanford University, USA

Plenary Lecture 2

■日時：12月6日（土） 10:20～11:20

■会場：第1会場（2F シビックホール）

Plenary Lecture 2 臨床・C

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）
仲村秀太（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科）

■Speaker

PL02-1 Clinical utility of HIV subtyping and drug resistance

Miłosz Stanisław Parczewski

Pomeranian Medical University in Szczecin, Poland

会長講演

■日時：12月6日（土） 14:10～14:25

■会場：第1会場（2F シビックホール）

会長講演

座長 杉浦 互（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

■演者

CH01-1 HIV 研究は人生そのものだ

吉村和久

東京都健康安全研究センター

シンポジウム「治療の手引き」

■日時：12月6日（土） 16:55～18:55

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 「治療の手引き」 臨床・C

座長

満屋裕明（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所）
岡 慎一（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）
白阪琢磨（公益財団法人エイズ予防財団／国立病院機構大阪医療センター）
潟永博之（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者

はじめに

満屋裕明

国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所

TR01-3 COVID-19 時代とエイズ症例

青木孝弘

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

What' New?

潟永博之

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

TR01-4 わが国の HIV 感染抑制と陽性者支援のためのプロジェクト < ZERO transmission in Japan by 2030 > について

白阪琢磨

公益財団法人エイズ予防財団／国立病院機構大阪医療センター

TR01-1 治療失敗から学ぶ長期作用型製剤の適正使用

今橋真弓

国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

終わりに

岡 慎一

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

TR01-2 NRTI-sparing ART 下における HBV ワクチンの現状

木内 英

東京医科大学

医学教育事業委員会シンポジウム

■日時：12月6日（土） 18:50～20:20

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

医学教育事業 委員会 シンポジウム 臨床・C

エイズ学会医学教育事業主催
HIV 感染症患者における HPV
感染症予防と関連疾患治療に対
する最新の知見

座長

前田賢次（鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同
研究センター）

■演者

CS01-1 HIV 感染者における HPV 関連癌の課
題と展望

水島大輔

国立健康危機管理研究機構

CS01-2 高リスク集団における HPV ワクチン
接種の現状 — HIV-PrEP 利用 MSM
からの調査報告

塩尻大輔

パーソナルヘルスクリニック

HIV 感染症患者における HPV 感染予防と関連疾患治療に対する教育事業（MSD 医学医学教育事業助成）

* 本教育事業は、MSD 株式会社（公募型）医学教育事業助成の資金提供を受けて実施しています。

MSD 株式会社は、当該事業の企画・実施・管理に一切関与しておりません。

早期治療推進検討委員会シンポジウム

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

早期治療推進 検討委員会 シンポジウム 基礎・B/臨床・C/社会・S

ART の早期導入と継続に向け
た身体障害者手帳認定基準改正
への取り組み

座長

田沼順子（国際医療福祉大学）

■演者

導入

井上洋士

日本エイズ学会早期治療推進検討委員会／株式会社アク
セライト

CS02-1 身体障害者手帳が HIV に導入されるよ
うになった医療的・福祉的・社会的経
緯と意義

大平勝美（ビデオ出演）

元はばたき福祉事業団

CS02-2 免疫機能障害者認定基準改正要望書提
出をめぐるこれまでの学会の取り組み

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

CS02-3

HIV 陽性者対象の調査結果から見る
ART 開始の遅れと身体障害者手帳活
用状況

井上洋士

日本エイズ学会早期治療推進検討委員会／株式会社アク
セライト

CS02-4

障害者権利条約の障害・障害者の「定
義」・概念と日本の課題

佐藤久夫

日本障害者協議会／日本社会事業大学

CS02-5

身体障害者認定基準改正要望の方向性

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院感染症内科・感染制御部

シンポジウム

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 1 基礎・B

HIV cure へ向けたチャレンジ
／ Challenges Toward
Achieving an HIV Cure

座長

武内寛明（東京科学大学）
山本浩之（国立健康危機管理研究機構国立感染症
研究所）

■演者

SY01-1 HIV 感染症の機能的治癒を目指した新
規免疫療法の開発

山本拓也

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所難病・免疫
ゲノム研究センター

SY01-3 Decoding HIV Reservoirs to
Inform Cure Strategies

Xu Yu

Ragon Institute of MGB, MIT and Harvard
Harvard Medical School

SY01-2 HIV cure と HIV remission

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

シンポジウム 2 社会・S

コミュニティセンターにおける
HIV 検査を起点とした予防の
取り組みと社会への広がり

座長

本間隆之
船石翔馬（福岡コミュニティセンター HACO）

■演者

SY02-1 コミュニティセンター ZEL における
MSM を対象とした HIV 検査普及の取
り組み

太田ふとし

やろっこ

SY02-4 CBO が担う HIV 検査会の実践と課題

陰山朋久

MASH 大阪／公益財団法人エイズ予防財団／コミュニ
ティセンター dista

SY02-2 コミュニティセンター akta を起点と
した首都圏の MSM における HIV 検査
促進と受検環境整備の取り組み

木南拓也

特定非営利活動法人 akta/ 公益財団法人エイズ予防財団

SY02-5 福岡コミュニティセンター HACO に
おける MSM を対象とした HIV 検査支
援と予防の取り組み

船石翔馬

認定 NPO 法人魅惑的倶楽部／福岡コミュニティセン
ター HACO

SY02-3 コミュニティセンターにおける HIV 検
査を起点とした予防の取り組みと社会
への広がり

藤浦裕二

ANGEL LIFE NAGOYA

SY02-6 沖縄県における MSM を対象とした検
査の取り組みと課題

玉城祐貴

コミュニティセンター mabui

シンポジウム

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 3 基礎・B

HIV 潜伏感染メカニズム研究
の最前線／Frontiers in the
Study of HIV Latency
Mechanisms

座長

佐藤賢文（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター）
白川康太郎（京都大学医学部附属病院血液内科）

■演者

SY03-1

Clinical significance of residual
HIV reservoirs under cART and
future perspectives toward
HIV cure

Kenji Maeda

Joint Research Center for Human Retrovirus
Infection, Kagoshima University

SY03-3

HIV cure strategies targeting
the temporal spatial dynamics
of HIV reservoir

Ya-Chi Ho

Department of Microbial Pathogenesis, Yale
University School of Medicine

SY03-2

Immune Targeting of HIV-1
reservoir cells

Mathias Lichterfeld

Ragon Institute of MGB, MIT and Harvard

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 4 基礎・B / 臨床・C / 社会・S

HIV 診療に関わる医療従事者
の世代交代
～先人たちの苦勞を若手にどう
伝えていくか～

座長

宇野健司（南奈良総合医療センター感染症内科）
白野倫徳（大阪市立総合医療センター感染症内科）

■演者

SY04-1

何もわからず素手で立ち向かっていた
時代から今まで

高田 昇

元・広島大学病院 / おだ内科クリニック

SY04-2

少年易老学難成

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

シンポジウム

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 5 基礎・B

日本、先進国、アフリカの薬剤耐性ウイルスにおける現状と今後の対策について／Current Status and Future Strategies for Drug – Resistant HIV in Japan, the United States, and Africa

座長

上野貴将（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）
杉浦 互（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

■演者

SY05-1 Dolutegravir Resistance: A Call for Strategic Initiatives in Sub-Saharan Africa

Doreen Donald Kamori

Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania

SY05-2 Surveillance of pretreatment HIV drug resistance in Japan

菊地 正

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所

SY05-3 Resistance to Key Antiretrovirals: Mechanisms, Frequency, and Clinical Impact

Robert Shafer

Stanford University, USA

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 6 社会・S

公的な HIV 検査・相談はこれからどこに向かえば良いのか

座長

貞升健志（東京都健康安全研究センター微生物部）
林田庸総（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者

SY06-1 HIV 郵送検査の性質と活用について

林田庸総

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

SY06-4 東京都における公的 HIV 検査、地方衛生研究所としての疫学解析

貞升健志

東京都健康安全研究センター微生物部

SY06-2 医療機関における HIV 検査

渡邊珠代

石川県立中央病院免疫感染症科

SY06-5 大阪における HIV 検査について

浜みなみ

大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課

SY06-3 「HIV 検査相談研修会」から見えること

柏崎正雄

公益財団法人エイズ予防財団

SY06-6 福岡県における HIV 検査の現状と課題

中村麻子

福岡県保健環境研究所

シンポジウム

■日時：12月6日（土） 14:40～16:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 7 臨床・C

EACS LIVE! Case-based discussion

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）
今橋真弓（国立病院機構名古屋医療センター）

■パネリスト

Miłosz Parczewski
Pomeranian Medical University

■演者

SY07-1 A Fatal Case of AIDS Complicated by Kaposi's Sarcoma-Associated Inflammatory Cytokine Syndrome (KICS)

徳永佳尚

久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門

SY07-2 Successful treatment of thyroid eye disease complicated by HIV infection with teprotumumab, an anti-insulin-like growth factor-1 receptor antibody

船田将史¹⁾、宮川一平^{1,2)}、鳥本桂一¹⁾、
久保智史¹⁾、中山田真吾¹⁾

1) 産業医科大学第1内科学講座、2) 産業医科大学医学部分子標的治療内科学講座

■日時：12月6日（土） 16:45～17:45

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

シンポジウム 8 基礎・B

第2回 他分野を知り HIV/AIDSを知る

座長 原田恵嘉（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所）
池田輝政（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

■演者

SY08-1 ヒトT細胞白血病ウイルス1型の生存戦略と成人T細胞白血病の発がん機構

安永純一郎

熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科

SY08-2 エムボックスウイルスに対する創薬研究

渡士幸一

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所治療薬開発研究部

シンポジウム

■日時：12月6日（土） 19:00～20:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 9 社会・S

新エイズ予防指針の実装と展望：
流行終息に向けたマルチステークホルダーによる対話の場

座長 岩橋恒太（特定非営利活動法人akta）
吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■演者

小谷聡司
厚生労働省

SY09-1 ウイルス側から見た日本の HIV 流行動向

菊地 正
国立健康危機管理研究機構

SY09-2 新エイズ予防指針案の論点

四本美保子
東京医科大学病院臨床検査医学科

SY09-3 新エイズ予防指針への CBO の参画と今後の課題
ーコミュニティからの提言ー

岩橋恒太
特定非営利活動法人 akta

SY09-4 改定エイズ予防指針における新たな課題の可視化と今後の考察

白阪琢磨
公益財団法人エイズ予防財団 / 国立病院機構大阪医療センター

■日時：12月7日（日） 8:30～10:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 10 臨床・C

災害時を再考する
～ Resilience を高めるには～

座長 山下和範（長崎大学病院災害医療支援室）
阿部憲介（国立病院機構仙台医療センター）

■演者

SY10-1 災害時における HIV 陽性者への治療継続支援 ～能登半島地震の経験から～

石井智美
石川県立中央病院

SY10-2 災害から学んだ医療連携と情報共有の
大切さ - 薬剤師の立場から -

阿部憲介
国立病院機構仙台医療センター

SY10-3 HIV 感染症を乗り越えて、人が困難に
巻き込まれた時に思うこと（HIV 感染症、東日本大震災等の経験から）

早坂典生
特定非営利活動法人りょうちゃんず

SY10-4 熊本県における災害時保健医療福祉活動

劔 陽子
熊本県阿蘇保健所 / 熊本県健康福祉部健康危機管理課

シンポジウム

■日時：12月7日（日） 9:00～10:30

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 11 臨床・C

高齢期を迎える HIV 陽性患者
の医療ニーズと地域医療の活用
について

座長

中田浩智（熊本大学感染免疫診療部）
長與由紀子（国立病院機構九州医療センター看護
部）

■演者

SY11-1 HIV 陽性者が抱える併存疾患と必要な
医療体制の検討

杉野祐子

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

SY11-4 HIV 感染者の高齢化に伴う生活上の問
題と課題 ～訪問看護の立場から～

岡野美岐子

医療法人永田会東熊本第2病院在宅部

SY11-2 エイズ中核拠点病院と非拠点病院～双
方の勤務から見たもの

柳澤邦雄

深谷赤十字病院

SY11-5 医療施設型ホスピス「医心館」での HIV
陽性者受け入れの現状と療養の実際

高橋めぐみ

株式会社アンビス研修企画部

SY11-3 HIV 治療における薬局薬剤師の役割と
今後の展望－地域連携強化に向けた取
組みと課題－

上妻弘明

株式会社タカラ薬局

■日時：12月7日（日） 9:00～10:30

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

シンポジウム 12 社会・S

性風俗産業従事者のための受検
勧奨と予防啓発
～コミュニティベースによる実
践と課題～

座長

東 優子（大阪公立大学大学院現代システム科学
研究科人間科学分野）
青山 薫（神戸大学国際文化学研究所）

■演者

SY12-1 性風俗産業に従事するトランスジェン
ダーのセクシャルヘルスの実態と課題

金子典代

名古屋市立大学大学院看護学研究科

SY12-3 セックスワーカーやトランスジェン
ダーのための HIV/AIDS・性感染症予
防の現状と課題

宮田りりい

関西大学人権問題研究室／さんきトランス・ミーティング／
SWASH／MASH 大阪

SY12-2 セックスワーカーを対象としたコミュ
ニティベースの取り組みについて

げいまきまき

SWASH／MASH 大阪

■コメンテーター

宇野健司

南奈良総合医療センター

池袋 真

LUNA クリニック

シンポジウム

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 13 社会・S

高齢期の「住まいと療養」を考える
―受入れ経験から学ぶ課題とヒント―

座長

大里文誉（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）
宮崎菜穂子（川崎市保健所）

■演者

SY13-1 高齢期 HIV 陽性者の社会的脆弱性とレジリエンス ― 交差性理論と地域連携をつなぐ架け橋

大島 岳

明治大学情報コミュニケーション学部

SY13-2 受け入れて判った HIV 感染者の在宅医療・介護と療養入院が抱える問題と今後の課題

大石 毅

医療法人財団圭友会小原病院 / 東京医科大学臨床検査医学分野

SY13-3 HIV 感染症の方の老人保健施設受け入れに対する体制作りと当施設介護職員の意識変化について

千葉義明

台東区立老人保健施設千束

SY13-4 HIV 陽性者を地域で支えるということ～医療法人における受入れ実践から見た課題と展望～

山本友美

医療法人社団誠仁会夫婦石病院

SY13-5 「くらし」を支え、地域のチームで伴走するために - 在宅診療所の立場から -

土屋菜歩

医療法人社団やまと やまと在宅診療所栗原

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 14 臨床・C

チーム医療からみる“こころ”とはなにか

座長

木村聡太（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

木村宏之（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野）

■演者

SY14-1 こころの共鳴のための心がけ

成田 雅

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

SY14-2 長期療養時代における HIV 感染者の「こころ」の支援 HIV コーディネーターナースによるケア実践

鈴木ひとみ

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター看護部

SY14-4 心理職が考える“こころ”

安尾利彦

国立病院機構大阪医療センター臨床心理室 / 臨床研究センター

SY14-5 HIV 陽性者に特徴的なメンタルヘルスの課題とは

高橋卓巳

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

SY14-3 薬剤師からみる“こころ”とは

松木克仁

国立病院機構名古屋医療センター薬剤部

ポジティブトークセッション

■日時：12月5日（金） 15:20～16:50

■会場：第1会場（2F シビックホール）

ポジティブトーク
セッション

POSITIVE TALK 2025

座長

吉村和久（東京都健康安全研究センター）
大島 岳（特定非営利活動法人ぶれいす東京 / 特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス）

■スピーカー

HIV 陽性者 5 名

メモリアルサービス

■日時：12月5日（金） 16:50～17:50

■会場：第1会場（2F シビックホール）

メモリアル
サービス

第15回 世界エイズデー メモリアルサービス
～生命（いのち）をつなぐ～

■企画者

有志

AIDSで亡くなられた人、亡くなられた人たちを追悼したい人たちがいる。世界エイズデーメモリアルサービスでは、HIV/AIDSに関わる人たちが、年齢、性別、性的指向、信仰、医療者と患者の枠を超え、ありのままの気持ちでいられる場を提供したい。また今もHIVと共に生きている陽性者やこれからの時代を担って行く、全ての人たちが命をつなぎ、明日への希望を覚える時を共に過ごしたい。

日本エイズ学会認定講習会（医師）

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第1会場（2F シビックホール）

日本エイズ学会
認定講習会
（医師）
臨床・C

HIV 予防・臨床における検査
update
～ HIV、STI、BBV、HPV 関
連癌の診断再考～

座長 南 留美（国立病院機構九州医療センター）
水島大輔（国立健康危機管理研究機構）

■演者

TR02-1 検査をもっとラクに、もっと身近に：
iTesting の取り組みから見たもの
今橋真弓
国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・
免疫研究部

TR02-2 民間クリニックにおける検査事業を通
じた HIV/STI 検査・治療・予防・情報
提供の一元化モデル
石内崇勝
一般社団法人天照会いだてんクリニック

TR02-3 ハイリスク集団における Blood-
Borne VIRUS(BBV) 感染の実態調
査の報告
上村 悠
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ
治療・研究開発センター

TR02-4 HPV 関連がんの診断再考を考える
安藤尚克
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ
治療・研究開発センター

日本エイズ学会認定講習会（看護師）

■日時：12月6日（土） 14:40～16:10

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

日本エイズ学会
認定講習会
（看護師）
臨床・C

HIV 感染症患者の受診継続支
援について考える

座長 城崎真弓（国立病院機構九州医療センター）
木下一枝（国立大学法人広島大学病院）

■演者

TR03-1 戸蒔祐子
慶応義塾大学病院

TR03-2 田中美佐子
産業医科大学病院

日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師向けアドバンス研修

■日時：12月7日（日） 14:00～15:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

日本エイズ学会認定
HIV 感染症指導看護師
向けアドバンス研修
臨床・C

発達段階における患者の課題を
踏まえた病気の打ち明け・受け
止め支援のあり方

座長 松山奈央（公立大学法人横浜市立大学附属病院）
宮城京子（琉球大学病院）

■演者

TR04-1 高木雅敏
熊本大学病院

TR04-4 東 政美
大阪医療センター

■企画担当

TR04-2 宮城京子
琉球大学病院

TR04-5 平山江美
東京女子医科大学病院

TR04-3 大野稔子
北海道難病連

TR04-6 松山奈央
公立大学法人横浜市立大学附属病院

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

HIV 感染症薬物
療法認定・専門薬
剤師認定講習会
臨床・C

薬害エイズより学ぶ HIV 感染
症診療のよもやま話と医療者とし
ての使命を考える

座長 畛井浩子（T & T タウンファーマ株式会社）
増田純一（国立健康危機管理研究機構国立国際医
療センター）

■演者

TR05-1 薬害エイズより学んだこと
岡 慎一
国立健康危機管理研究機構エイズ治療・研究開発センター
名誉センター長

TR05-3 薬害エイズで薬剤師として学んだこと
井門敬子
社会医療法人仁友会南松山病院

TR05-2 薬害エイズと医薬品早期承認制度
花井十伍
特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

TR05-4 薬害エイズから学んだ HIV 感染症診療
と学ぶ HIV 感染症診療
小島賢一
医療法人財団荻窪病院

市民公開講座

■日時：12月7日（日） 16:00～17:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

市民公開講座

エイズの現在地
～報道されない本当の姿～

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■演者

武田真一
アナウンサー

本田美和子
国立病院機構東京医療センター総合内科医長

松下修三
熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

Scientific Engagement Satellite Symposium

■日時：12月6日（土） 16:45～18:45

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

Scientific Engagement Satellite Symposium

個別化医療の実現へ：臨床検査、指標、コミュニケーションの活用
Advancing Personalized Medicine
for PLWH: Harnessing Clinical Tests,
Indicators, and Communication

座長 松下修三（熊本大学）

■演者

SESS01-1 Chloe Orkin
Queen Mary University of London

SESS01-3 吉野友祐
帝京大学

SESS01-2 谷口俊文
千葉大学

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社メディカルアフェアーズ

ミニシンポジウム

■日時：12月7日（日） 9:00～10:00

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

ミニシンポジウム 社会・S

厚生労働研究「血液製剤による
HIV/HCV 重複感染患者に対
する肝移植を含めた外科治療に
関する研究」江口班のこれまでの
成果と今後の展開

座長

江口 晋（長崎大学大学院 移植・消化器外科学
教授）
四柳 宏（国立健康危機管理研究機構 理事（研究
連携推進担当））

■演者

MSY01-1 基調講演

秋野公造

参議院議員（福岡県選出）

MSY01-2 これまでの成果

日高匡章

島根大学医学部 消化器・総合外科 教授

MSY01-3 鼎談

江口 晋

長崎大学大学院 移植・消化器外科学 教授

鼎談

上平朝子

国立病院機構大阪医療センター 感染症内科・感染制御部
部長

鼎談

肝移植患者

共催：厚生労働省エイズ対策研究事業
「血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者
に対する外科治療の標準化に関する研究」班

共催シンポジウム

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

共催シンポ ジウム 1

LAI (Long-Acting-Injection)
治療の臨床的価値と患者との協
働による意思決定支援

座長

谷口俊文（千葉大学）

■演者

SS01-1 谷口俊文

千葉大学

SS01-3 仲村秀太

琉球大学

SS01-2 Moti Ramgopal

Midway Specialty Care Center in Florida,
United States

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

共催シンポジウム

■日時：12月5日（金） 15:20～17:20

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

共催シンポジウム 2

HIV 感染症と Premature Aging

座長 岡 慎一（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 特任教授）
（国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター／ACC 名誉センター長／国立療養所多磨全生園 特命副園長）

■演者

SS02-1 Premature Aging と高齢化
一臓器からみる PWH の課題と対策

南 留美

国立病院機構九州医療センター AIDS /
HIV 総合治療センター 部長

SS02-3 HIV 陽性者の代謝疾患管理
一適切な食事、運動療法とは？

田村好史

順天堂大学大学院医学研究科
スポーツ医学・スポーツロジ／代謝内分泌学 教授

SS02-2 Premature Aging を踏まえた
ART の個別化治療

渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター
臨床研究センターエイズ先端医療研究部長

共催：MSD 株式会社

■日時：12月5日（金） 15:20～17:20

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

共催シンポジウム 3 認定講習会・ 薬剤師

薬剤師ワークショップ： これからの HIV 診療を支える 薬剤師の視点と実践

座長 増田純一（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 薬剤部）
矢倉裕輝（国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部）

■演者

SS03-1 抗 HIV 治療の変遷とこれからの HIV
診療を支える薬剤師の役割

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ
先端医療研究部

SS03-3 HIV 診療の person-centered
care における薬剤師の役割
- 薬局薬剤師の視点から -

田橋美佳

薬樹薬局三ツ沢

SS03-2 HIV 診療の person-centered
care における薬剤師の役割
- 病院薬剤師の視点から -

松木克仁

国立病院機構 名古屋医療センター 薬剤部

SS03-4 HIV 診療におけるファーマシューティ
カル・ケアと evidence generation
の実践

阿部憲介

国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

共催シンポジウム

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

共催シンポジウム 4

HIV/AIDS 治療の将来を見据えた 2 剤レジメンの在り方

座長 渡邊 大（大阪医療センター）

■演者

SS04-1 B 型肝炎リスクを考慮した治療選択
青木孝弘
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

SS04-3 長期治療における薬剤切り替えの選択
渡邊 大
大阪医療センター

SS04-2 初回診療における治療選択
白野倫徳
大阪市立総合医療センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

■日時：12月6日（土） 14:40～16:40

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

共催シンポジウム 5

HIV-1 感染症の根治に向けて
-5
～根治再考、そして次の一手へ～

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）
石田尚臣（デンカ株式会社）

■演者

SS05-1 「HIV-1 感染症の根治に向けて」4 年の歩み
石田尚臣
デンカ株式会社

SS05-3 抗 HIV 療法の変遷と展望
瀧永博之
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター／エイズ治療・研究開発センター

SS05-2 HIV 陽性者が考える治療と根治の未来
井上洋士
HIV Futures Japan プロジェクト／株式会社アクセライト

SS05-4 HIV 感染症の根治を目指した検査戦略の現状と未来
佐藤賢文
熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

共催：デンカ株式会社

共催シンポジウム

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

共催シンポジウム 6

ViiV Medical Education Symposium
HIV 診療における、より良い共同意思決定
(Joint Decision Making) に必要なもの
とは

座長 矢嶋敬史郎（都立駒込病院）

■演者

SS06-1 矢嶋敬史郎
都立駒込病院

■演者兼パネリスト：50 音順

緒方 釈 熊本大学病院

奥井裕斗

小嶋道子 駒込病院

灰来人 notAlone Fukuoka

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

共催シンポジウム 7

HIV 陽性者にとっての Long-
Term Success とは
～患者中心の医療アプローチ～

司会

高久陽介（特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者
ネットワーク・ジャンププラス）
松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター）

【第一部】

■演者

SS07-1 ヤス
特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・
ジャンププラス

SS07-2 井上洋士
株式会社アクセライト

【第二部】パネルディスカッション

■パネリスト

猪狩英俊
千葉大学

井上洋士
株式会社アクセライト

高久陽介
特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・
ジャンププラス

ヤス
特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・
ジャンププラス

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

ランチョンセミナー

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

ランチョン セミナー 1

将来を見据えた HIV 治療選択
～患者ニーズの変化と治療薬の
進歩～

座長

潟永博之（国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター）

■演者

LS01-1 診療所における HIV 診療の実際
～6年間のビクトルビの使用経験から～

山中 晃

新宿東口クリニック

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

ランチョン セミナー 2

血友病・長期治療の課題
～熊本の取組から考える～

座長

葛田衣重（千葉大学病院 感染制御部 特任研究
員）

三嶋一輝（福井大学病院 地域医療連携部 総括
医療ソーシャルワーカー）

■演者

LS02-1 P-Live とともに歩んで 40 年～それぞ
れの長期療養に寄り添う～

松下修三

熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター・抗ウ
イルス・血液疾患研究共同研究講座 臨床レトロウイルス
学分野 特任教授

LS02-2 薬害 HIV 感染被害者救済：在宅就労か
ら社会参加へ

田中良明

特定非営利活動法人在宅就労支援事業団 理事長

共催：KM バイオロジクス株式会社

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

ランチョン セミナー 3

ベトナムにおける HIV/AIDS 管理
-アジアにおける ARO ネットワークから-
HIV/AIDS Management in Vietnam
-From ARO Network in Asia-

座長

杉浦 互（国立健康危機管理研究機構 臨床研究
センター センター長）

■演者

LS03-1 ARISE: International
Collaboration and Clinical Trial
Network Development for
Infectious Diseases with a
Focus on Vietnam

時田大輔

国立健康危機管理研究機構臨床研究センター
インターナショナルトライアル部 部長

LS03-2 HIV/AIDS management in
Vietnam

Dr. Vo Hai Son

ベトナム保健省疾病予防管理局 副局長

共催：国立健康危機管理研究機構

ランチョンセミナー

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

ランチョン セミナー 4

持効性注射剤、どう伝える？ど
う導入する？
～実臨床からの課題解決のヒン
ト～

座長 照屋勝治（国立国際医療センター）

■演者

LS04-1 照屋勝治
国立国際医療センター

LS04-3 保科育生
東京慈恵会医科大学病院

LS04-2 小西啓司
大阪医療センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

ランチョン セミナー 5

長期療養時代のPWHの個別化
治療

座長 木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野 主
任教授）

■演者

LS05-1 HIV の生活習慣病とがん – 長期診療に
おける臨床の Update
関谷綾子
がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科 医長

LS05-2 抗 HIV 療法のパーソナライズ化
—NNRTI の位置づけ—
安達英輔
東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

共催：MSD 株式会社

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

ランチョン セミナー 6

血友病

座長 今村淳治（仙台医療センター HIV/AIDS 包括診
療センター 室長）

■演者

LS06-1 血友病診療における医療行動経済学
平井 啓
大阪大学大学院人間科学研究科

LS06-2 血友病の治療変遷 - エミシズマブのエ
ビデンス -
古川晶子
大阪医療センター 血友病科

共催：中外製薬株式会社

ランチョンセミナー

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

ランチョン セミナー7

長期療養について考える
～通院できなくなる その時
どうする？～

座長 南 留美（九州医療センター 免疫感染症内科長）

■演者

LS07-1 長期療養の支援ニーズに応える社会的
支援の可能性

黒岩泰代

セコム医療システム株式会社

LS07-3 高齢化する HIV 感染症患者の診療・介
護・看取りを考える地域医療機関との
連携を目指して

猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院 感染症制御部長・感染症内科長
教授

LS07-2 地域支援者との相互理解による医療・
介護体制の構築

高橋昌也

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

共催：セコム医療システム株式会社

■日時：12月7日（日） 12:30～13:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

ランチョン セミナー8

PWH が求める「将来を見据え
た治療選択」を再考する

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）

■演者

LS08-1 現代 HIV 診療の課題と展望～5つの要
素に基づくビクトルビ配合錠の臨床的
有用性～

中田浩智

熊本大学病院 感染免疫診療部

S08-2 将来を見据えた HIV 診療を考える～耐
性バリアの高い薬剤選択と重要性～

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社